

高等学校 令和8年度（3学年用）教科

国語 科目 文学国語（発展・実用）

教科：国語

科目：文学国語（発展・実用）

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ F 組

使用教科書：（標準文学国語（第一学習社））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語（発展・実用）

の目標：

| 【知識及び技能】 | 【思考力、判断力、表現力等】 | 【学びに向かう力、人間性等】 |
|---|---|--|
| 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 | 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 | 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 |

| 単元の具体的な指導目標 | 指導項目・内容 | 領域 | | | 評価規準 | 知 | 思 | 態 | 配当 時数 |
|---|--|----|---|---|------|---|---|---|----------|
| | | 話 | 聞 | 書 | | | | | |
| 現代の小説（1）・（2） 【知識及び技能】 ・文学的な文章の種類や特徴について理解を深めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・内容や構成、展開、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する姿勢を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | ・ガイダンス資料（パワーポイント）のTeamsによる配信 ・「少年」との交流による「私」の心理変化と、デュークの死を受け入れるまでの過程を読み取らせる（「デューク」） ・時間の経過とともに登場人物の心情と行動に生じる変化を追い、題名にこめられた意味を考えさせる（「相棒」） | ○ | ○ | | | | | | 20 |
| 現代の詩 【知識及び技能】 ・文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品が成立した背景や他の作品との関係をふまえて解釈を深める姿勢を養うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | ・詩の構成や比喩に注目して読み、自分と他者との関係性について、作者の捉え方を理解させる（「生命は」） | ○ | ○ | | | | | | 9 |
| 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |

1 学期

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|----|
| <p>近代の小説（１）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養うことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情を理解させる（「こころ」） | | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解している。 ※(1)イエ <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 物語の展開と出来事を整理しながら、「私」と「K」それぞれの心情をつかむ。 ※読(1)アイエ <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 場面ごとの展開から登場人物の心情とその変化について粘り強く理解を深め、さらに本文とは異なる視点から書き換える活動に積極的に取り組み、解釈を深めようとしている。 | | | | 20 |
| <p>戦争と文学（１）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解させる（わたしが一番きれいだったとき） | | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩というジャンルの特徴や表現の技法を理解している。 ※(1)ウエ <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 詩の構成の意図を考え、過去と後半生に対する「わたし」の心情をつかみ、詩の主題を理解する。 ※読(1)アイエ <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 象徴的な表現を読み取り、進んで表現上の効果や作品世界、そこに込められた戦争に対する心情などを理解しようとしている。 | | | | 8 |
| <p>定期考査</p> | | | | | | | | 1 |
| <p>近代の小説（１） 現代の小説（３）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解することができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内容や構成、展開、場面設定や描写のしかた、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の心理の複雑さを、構成を把握しながら読み解かせる（「鼻」） ・ 短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取らせる（「旅する本」） | | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解している。 ※(1)イエ <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全体の構成を把握しながら、鼻が変化した内供と、彼を取り巻く人々の複雑な心理を理解している。 ※読(1)アイエ <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 内供と、彼を取り巻く人々の心理や態度を読み取るだけでなく、『今昔物語集』も粘り強く読み取り、作者の工夫をまとめようとしている。 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解している。 ※(1)イエ <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 短編小説の特色を理解し、本との再会を繰り返すたびに実感される「私」の変化を読み取っている。 ※読(1)アイエ <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品全体における「その本」の意味について、各時期の「私」の受け止め方を踏まえて粘り強く読み解こうとしている。 | | | | 20 |
| <p>現代の小説（４）</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の量を増やし、語彙を豊かにすることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈をふまえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養うことができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品中の表現に注意しながら、「私」が幹生の目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握させる（「ひよこの眼」） | | | <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本文中に登場する、情景や心情の機微を表す語句・語彙、表現の技法を理解している。 ※(1)イエ <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作品中の表現に注意しながら、「私」が幹生の目が見つめていたものに気づくまでの心情の変化を把握する。 ※読(1)アイエ <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「私」の幹生に対する心情変化を捉えるために、表現に注意しながら場面の展開を粘り強く読み取り、最後の段落の「私」の思いについて、自分の考えを積極的に文章にまとめようとしている。 | | | | 8 |

| | | | | | | | | | |
|------|--|--|--|--|--|---|---|--|-----|
| 定期考査 | | | | | | ○ | ○ | | 1 |
| | | | | | | | | | 合計 |
| | | | | | | | | | 140 |